

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名	行動科学				
科目分類	基礎分野	履修年次	2年次	履修時期	4月～5月
単位(時間数)	1単位(15時間)	講義時間	14時間	試験時間	1時間
担当教員	臨床心理士	実務経験	臨床実務経験あり		
科目目的	人間行動の多面性・共通性について学び、包括的に人間を理解する素地を養う。				
学習目標	行動科学からの人間理解と行動変容について理解を深める。				
回	授業内容				授業方法
1	オリエンテーション 行動科学とは何か 人間理解としての心理学 健康信念モデル				講義
2	自己効力				講義
3	変化のステージモデル				講義
4	計画的行動理論				講義
5	ストレスとコーピングモデル				講義
6	ソーシャルサポート				講義
7	コントロール所在				講義
8	筆記試験				
使用教材	医療保健スタッフのための健康行動理論の基礎～生活習慣病を中心に～ 医歯薬出版				
成績評価の方法	筆記試験 なお、適宜授業時間内で小テストを行い、成績に加味する。				

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名		看護物理学			
科目分類	基礎分野	履修年次	1年次	履修時期	4月 ~ 9月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	工業高等専門学校教授	実務経験			
科目目的	物理的現象に関する基礎的知識や法則を学び、人間工学的立場から看護場面に応用できる能力を養う。				
学習目標	姿勢や動作を力と力のモーメントで考察し、看護に適した姿勢・動作を理解できるようにする。また、点滴、吸引、血圧とその測定などの流体に関する医療行為や機器を、流体の圧力に基づいて理解できるようにする。				
回	授業内容			授業方法	
1	力			講義	
2	看護ボディメカニクス1:安定性			講義	
3	力のモーメント1:重心			講義	
4	力のモーメント2:てこ			講義	
5	力のモーメント2:てこ(続き)			講義	
6	力のモーメント3:腰痛			講義	
7	力と姿勢			講義	
8	看護ボディメカニクス2:力の節約			講義	
9	圧力1			講義	
10	圧力と医療機器1			講義	
11	圧力と医療機器2			講義	
12	圧力2			講義	
13	圧力と医療機器3			講義	
14	圧力と医療機器4			講義	
15	試験				
使用教材	看護学生のための物理学 第5版 医学書院				
成績評価の方法	筆記試験				

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名		文章表現法			
科目分類	基礎分野	履修年次	1年次	履修時期	4月～7月
単位(時間数)	1単位(15時間)	講義時間	14時間	試験時間	1時間
担当教員	大学准教授	実務経験			
科目目的	論理的な思考の形式・構造を理解し、論理的思考と文章表現能力、文章読解能力を養う。				
学習目標	物語・小説の作成を通じて、取材・構成・記述・推敲・評価・語彙などの総合的な記述力を養う。				
回	授業内容				授業方法
1	オリエンテーション・RWとWWについてネタを集める、掘り下げる、着想を集める				演習
2	お気に入りのJ-POPから物語の原型を作る-歌詞をきっかけに、人物像・世界観を形成する-・RW①				演習
3	場面の展開を考える・クライマックスを考える・RW②				演習
4	作品を執筆する・RW③				演習
5	小説・物語の原稿の推敲				演習
6	-よりよい小説・物語を完成させるためには- 編集委員会・助言をする				演習
7	校正・ティテールを仕上げる				演習
8	総括-作品集を製本する-				講義
※講義の進捗状況や学生の実態に応じて、講義内容は適宜変更する可能性があります。					
使用教材	一冊お気に入りの本を用紙してもらうこととなります。				
参考文献	これから出る本ウェブサイト <a href="http://www.Jbpa.Jp/database/pubulication.Html">http://www.Jbpa.Jp/database/pubulication.Html</a>				
成績評価の方法	毎回課される提出物の内容(50点)、自作の物語・小説の内容(50点)				

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名	情報科学				
科目分類	基礎分野	履修年次	1年次	履修時期	9月～2月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	大学教授	実務経験			
科目目的	統計学の基礎知識・情報処理の基礎的技術を身につけ、医療・看護に活用できる能力を養う				
学習目標	統計学の基礎知識・情報処理の基礎的技術を身につけ、医療・看護に活用できるようになる。				
回	授業内容				授業方法
1	データの種類				情報科学室のPCを使用しての講義
2	データの種類とグラフ作成				同上
3	データの加工(変化率)				同上
4	データの加工(集計1)				同上
5	データの加工(集計2)				同上
6	データの加工(条件付き計算)				同上
7	データの統計処理(1変量)				同上
8	データの統計処理(2変量)				同上
9	データの統計処理(応用)				同上
10	プレゼンテーション資料とは				同上
11	スライドデザイン、図形の挿入				同上
12	スマートアートの挿入と編集				同上
13	表の挿入と編集				同上
14	Excelで作成した表を取り込む				同上
15	試験				
使用教材	資料は講義時に配布します。				
成績評価の方法	試験(実技試験:PCでの作業)				